

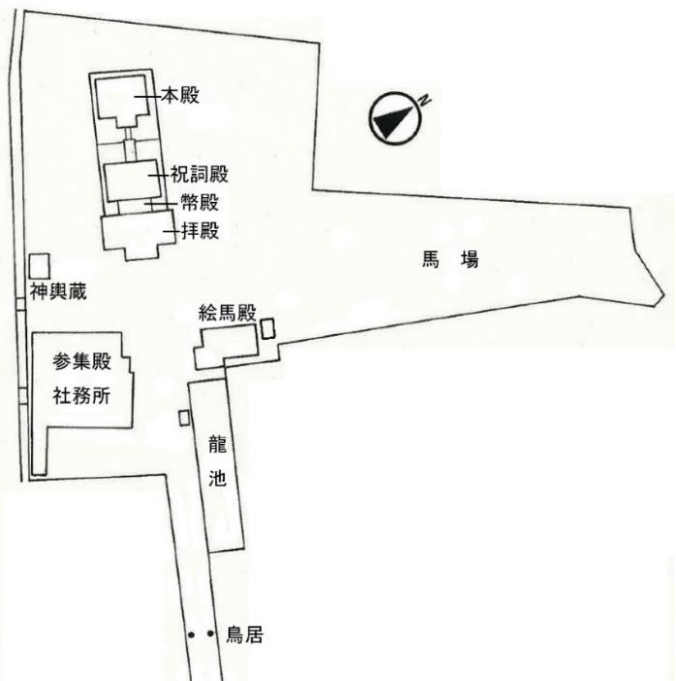
2 <sup>おおauraじんじゃほんでん</sup>大浦神社本殿、<sup>のりとでん</sup>祝詞殿・<sup>へいでんおよ</sup>幣殿及び<sup>はいでん</sup>拝殿、<sup>とりい</sup>鳥居 2棟1基

- (1) 所在地 浅口市寄島町 7756-1  
(2) 所有者 宗教法人 大浦神社  
(3) 概要

- ・本殿は境内後方の高い基壇上に昭和2（1927）年に再建され、平成27（2015）年に改修されている。平面規模は、およそ東西5.4m、南北4.8m、面積26㎡を測る。<sup>いりもやづくり</sup>入母屋造銅板葺で、正面に<sup>ちどり は ふ</sup>千鳥破風、<sup>こうはい</sup>向拝は<sup>から は ふ</sup>唐破風付きである。<sup>かえるまた</sup>臺股や<sup>きばな</sup>木鼻に精巧な彫刻を施す近代の大型社殿である。
- ・祝詞殿・幣殿及び拝殿は、昭和2年に大改修されているが、江戸後期～末期の様式を保っている。入母屋造銅板葺の拝殿（面積約77㎡）と祝詞殿（面積約44㎡）を前後に配置して幣殿（面積約29㎡）でつなぐ<sup>こんげんづくり</sup>権現造風の外観である。全体に端正なつくりで、拝殿正面の向拝を霊獣の彫刻で飾るなど、厳かな景観を演出している。
- ・鳥居は昭和2年建築で、柱間4.5m、高さ6.5m、足元径0.6mを測る<sup>みょうじんとりい</sup>花崗岩製明神鳥居である。扁額の「大浦神社」は犬養毅の揮毫によるものである。

(4) 登録基準

- 一、国土の歴史的景観に寄与しているもの（その他）
- 二、造形の規範となっているもの（本殿）





大浦神社本殿



大浦神社祝詞殿・幣殿  
及び拝殿



大浦神社鳥居